

検証結果の概要

プロジェクト名

「高知県木質資源エネルギー活用事業 B」

検証実施機関	財団法人日本品質保証機構
検証報告書発行日	2010年1月20日
検証意見の要約	<p>財団法人日本品質保証機構（JQA）は、高知県が実施した「高知県木質資源エネルギー活用事業（B）」を対象とした、モニタリング期間（2008年10月1日～2009年3月31日）における二酸化炭素排出削減量を検証した。検証の結果、「オフセット・クレジット（J-VER）制度に基づく温室効果ガス排出削減・吸収プロジェクトモニタリング報告書（2008年下半期）Ver.1-2」に記載された二酸化炭素排出削減量 893t-CO₂は、木質バイオマス含水率分析方法を除いて、「オフセット・クレジット（J-VER）制度に基づく温室効果ガス排出削減・吸収プロジェクト申請書 Ver.2.0」及び申請書別紙モニタリングプランに基づいて算定されていた。なお、木質バイオマス含水率分析方法については、申請書別紙モニタリングプランと異なった分析方法であったが、JQA は事業者が行った分析方法が妥当なものであると判断したので、当該判断を行うことについて、認証委員会事務局に対して照会した結果、「暫定的にモニタリング方法ガイドラインと整合したモニタリング方法として取り扱ってよいこと」及び「プロジェクト代表事業者等による修正申請手続は必要であるものの、軽微な修正として、再バリデーションを行う必要がないものと考えられる」との回答を得た。また、重要性の判断基準との対比では、誤りの合計値が 0t-CO₂（二酸化炭素排出削減量に対する割合：0%）となり、重要性の判断基準の 5%未満である。以上のことから、<u>検証意見は無限定適正意見</u>であることを表明する。</p>
備考	<p>本検証において、フェーズ 1 及びフェーズ 2 の検証活動を通じて、検証基準に適合しているか否かの確認を行った。その結果、誤りの合計値が 0 t-CO₂（二酸化炭素排出削減量に対する割合：0%）となり、重要性の判断基準の 5%未満であることを確認したため、検証意見を無限定適正意見とした。</p>